

# IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2011年6月号 (<http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/nl/>)

## 「平成23年度産業応用部門事業計画の要点」



電気学会 産業応用部門 総務企画担当  
松井 幹彦 (東京工芸大学)

本年度の事業計画の要点について説明します。まず、基本的な活動方針として、すでに確立している4委員会体制（研究調査運営委員会、論文委員会、編修広報委員会、国際化委員会）の下で論文誌の一層の充実を推進すると共に、会員の満足度向上、産業構造の変化を踏まえた新分野への取り組みと、会員の拡大、国際化の推進を目的とした活動を継続して行っています。具体的には、以下の5項目を柱として取り組む予定です。

**(1) 論文への取り組み：**論文誌の内容を充実させるため、研究会や国際会議で発表された論文の論文誌への投稿を促進します。また質の高い研究会資料が積極的に論文誌に投稿されるよう、特集論文の有効活用を進めます。このために必要な、タイムリーで迅速な特集論文の企画と、査読期間短縮のための工夫を更に行います。また、英文論文への海外からの投稿増加を目的として英文投稿システムの適切な運用を推進します。

**(2) 技術委員会の活性化：**平成22年度で新設・統合が完了したD部門研究調査運営委員会の13の技術委員会について、今後も継続的に技術や産業構造の変化に対応した組織のあり方を議論し、組織の改変を実行する運営委員会作りを進めます。特に技術委員長同士のコミュニケーションを密にし、相互に改善を促進します。また、各技術委員会の一層の活性化のため、将来展望と中期的な活動計画（シナリオ&ロードマップ）を引き続き策定していきます。

**(3) 編修広報の充実：**ニュースレターの発行リードタイムを可能な限り短縮することにより、より新しい情報を会員の皆様に提供できる運営体制の定着を図るため、引き続きシステムの改善を進めます。また、D部門ホームページでは、古い情報を定期的に見直すよう編修システムの改善を進めます。日本語版、英語版共により使い易く有用な情報発信プラットフォームとなるよう継続的に改善を進めていきます。

**(4) 国際化の取り組み：**世界の中の電気学会産業応用部門として更なるステータスの向上を目指すことを念頭に置き、部門国際化委員会を中心に、国際会議、国際ワークショップ等の運営への支援体制の確立、部門論文誌の国際化を含めた部門の国際化戦略を打ち出します。本部の国際活動委員会とも連携し国際化推進のための各種施策を検討します。また、国内外の学協会等との連携を強化していきます。

**(5) 会員の利便性の追求：**会員にとって魅力ある学会となるよう、研究会、シンポジウム、産業応用フォーラム、国際ワークショップ等では、新分野への取り組みや魅力あるテーマの設定などを推進していきます。その際に、企業等において技術開発等の中核を担う30~45歳ぐらいの会員にとって、学会会合や学会活動への参加が魅力的となるような視点を重視し、部門全体の活動の活性化を図っていきます。また、若手会員の定着を進めるため、学生員から准員・正員へのスムーズな移行に向けての勧誘要請も継続していきます。会員拡大および会員サービスのための広報活動においては、タイムリーな情報発信に努め、部門の役員会や主要委員会の議事概要や具体的議題等のWeb公開など、部門活動への会員の理解と直接参加意識を深めるような手段を引き続き検討し、試行していく予定です。

会員諸氏の一層のご支援とご協力をお願い致します。

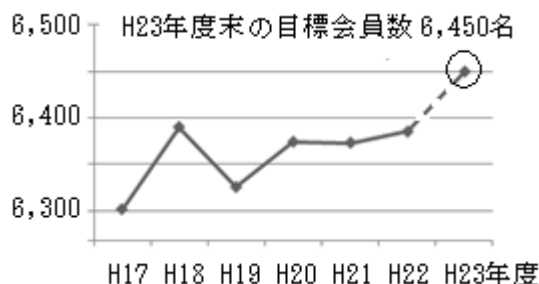


図1 D部門の会員推移とH23年度末の目標会員数